

れ、患者さんはその間、痛みや違和感を我慢しなければなりません。

当院は、診察室とリハビリ室を直通にし、外来の空き時間にすぐにリハビリ中の患者さんのもとへ行くようにしました。セラピストへの指示も的確に出せまし、患者さんが私に来るのを待っていてと強く感じています。診察室では遠慮して言えないことも、リハビリを受けながらであれば、「今のところが痛い」など、気軽に言えるようです。その場でリハビリの方法を変更するなど、患者さんにとってメリットは大きいと実感しています。

また、もう一つ考慮した点は、予約制にしなかったことです。勤務医時代、新患の方が多いと予約制にもかかわらず、かえって患者さんをお待たせすることがよくありました。このことを教訓に予約制をとらないことにしました。



患者さんの不安を取り除くように看護師が優しく問診。



診察室から直結のリハビリ室。



リハビリ中、スタッフも患者さんとのコミュニケーションを大切にしている。



リハビリ室でも患者さんの病状を聞いて、スタッフに指導する水本院長。

Q 患者さんはやはり、アスリートの方が多いのですか。

水本 運動をしている小中高生やトップアスリートのほかに、中高年の患者さんも多くいらっしゃいます。開業当初は、勤務医時代から診ていた患者さんが多かったのですが、現在は7割程度が開業以降に受診された方です。私が国体選手団のチームドクターをしていることもあり、スポーツ整形分野では、バドミントンやその他の幅広い競技者が受診されています。

スポーツ整形では、リハビリの内容や復帰までのプログラムをきちんと説明し、患者さんと話し合いながら治療を進めます。特にトップアスリートは、メンタル面の支援も重要だと感じています。「競技に戻れるのだろうか」「けがをしている間に、他の人にポジションを取られるのではないかな」など、トップにいるほど、下から追いかける不安やストレスは強くなります。

私が現役アスリートのころは、骨折やけがが多く、一方でスポーツに特化したリハビリが少なかった時代です。自身の経験を踏まえて、適切なリハビリがあることの大切さを伝えることで、患者さんの気持ちも落ち着いていると感じています。

中高年の患者さんは、膝や肩、足関節に痛みがある方がほとんどです。私は内視鏡を使った手術も専門としており、手術が必要な方の7割は内視鏡での治療になっています。当院は近隣の九州記念病院と連



「患者さんのメンタルケアも重要」と話す水本圭彦院長。

携しており、患者さんに入院していただき、私が執刀するようにしています。今でも週2回は同院に出向き、年間200人ほどの手術を行っています。

社会人として通用する 医師の育成にも力を注ぐ。

Q 今後の目標を教えてください。

水本 今後もアスリートの治療と復帰支援を続けていきたいと思っています。子どもたちの受診も多いため、試合に勝つだけでなく、感謝の心をもって人に接することができる子になるような指導もしています。強くなると、自分の力だと勘違いする場合がありますが、受診した子には、「当院に来るにも、家族が連れてきてくれたでしょ。ありがたいね」などと話し、ご両親や家族の支えがあって競技が続けられることへの理解を促しています。感謝の気持ちを持つ子は、競技の世界でも大きく伸びていけます。そういう子が増えてくると、うれしいですね。

また、開業以来、新規の患者さんやリハビリの効果を実感していただいている方の受診が増えており、ありがたいと感じています。一方で、受診したいけれども、体が動きにくかったり交通事情のため、来院で

きないという方も多くいらっしゃいます。できれば、地域貢献の一環として、訪問リハビリも実施していきたいと思いますが、今のところ、受診患者さんの増加に対するマンパワーの余裕がない状態です。そのため訪問リハは、状況を見ながら実施したいと思っています。

私は現在、熊本大学医学部バドミントン部の監督として、週2回、医学生と接しています。バドミントンの指導だけでなく、社会人としての教育も重要だと考えています。学生たちには、あいさつと体育館の掃除、両親に感謝の気持ちを伝えることを徹底しています。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」。社会人として必要な基本を身につけて、医師になった後も、患者さんにきちんと接することができる人に成長して欲しいと願っています。

開業までの軌跡

1990年	熊本大学医学部卒業後、同整形外科入局
1991年	三井大牟田病院勤務
1994年	熊本大学医学部整形外科
1998年	米カリフォルニア州立大学Davis校留学
2000年	熊本リハビリテーション病院
2013年	開業を決意
2014年	医療法人社団翔輝会水本整形外科・いわした内科開業

clinic data



医療法人社団 翔輝会 水本整形外科・いわした内科

〒862-0949
 熊本県熊本市中央区国府2-17-34
 TEL:096-362-3311
<http://shoki-kai.jp>
 ■診療科目:整形外科・リハビリテーション科・
 スポーツ整形・内科・循環器内科